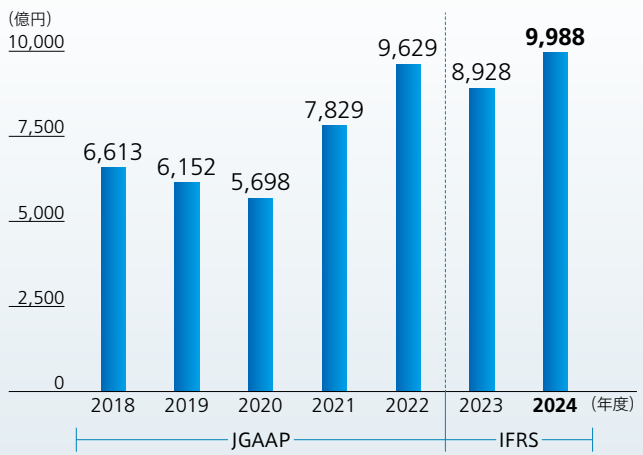
第6章 データ編

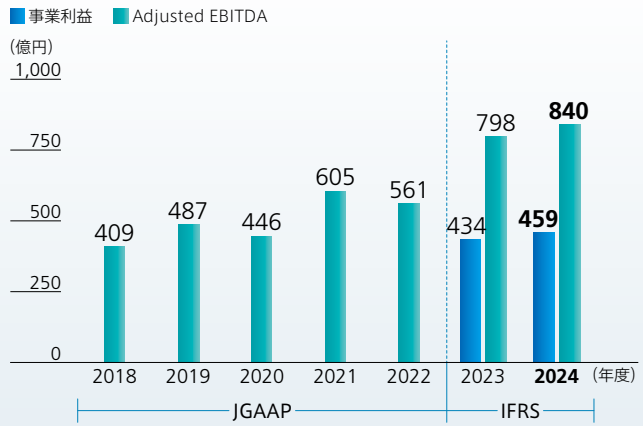
目指す姿に向けた軌跡

財務ハイライト

連結売上高・売上収益

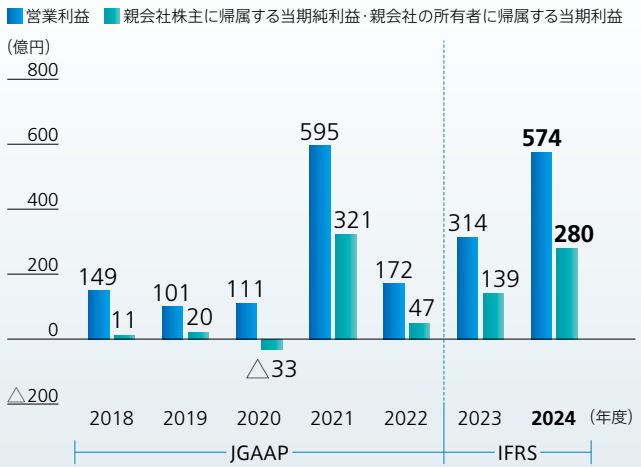


事業利益※1 ／ Adjusted EBITDA※2



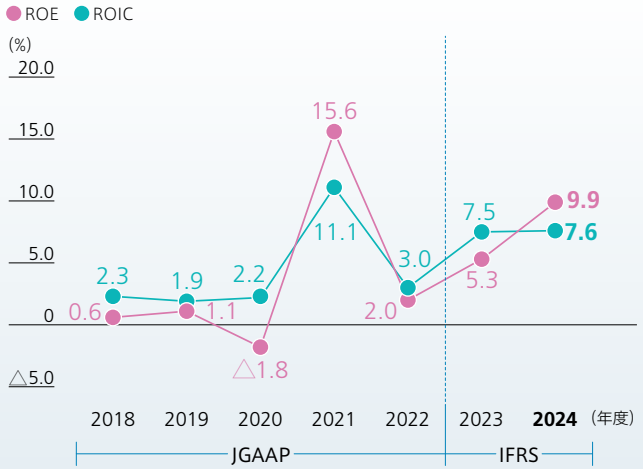
※1 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの
※2 Adjusted EBITDA＝EBITDA－ 棚卸資産影響等

営業利益／親会社の所有者に帰属する当期利益※3



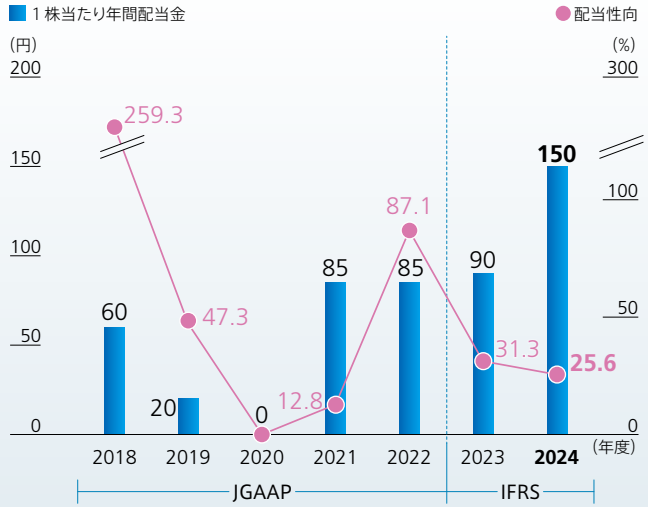
※3 JGAAPでは、親会社株主に帰属する当期純利益を表示

ROE ／ ROIC※4

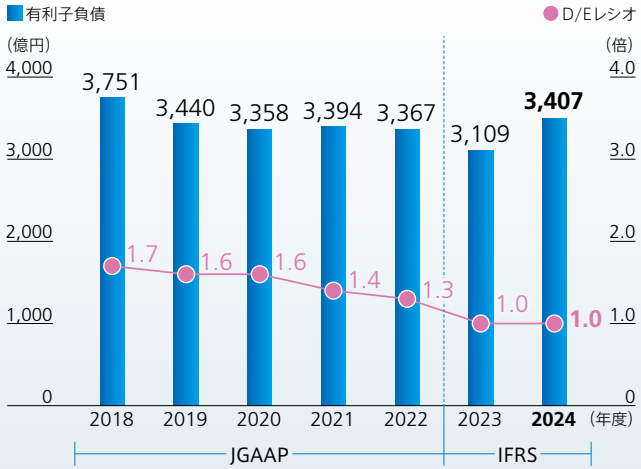


※4 税引前事業利益を基に算出

1株当たり年間配当金／配当性向



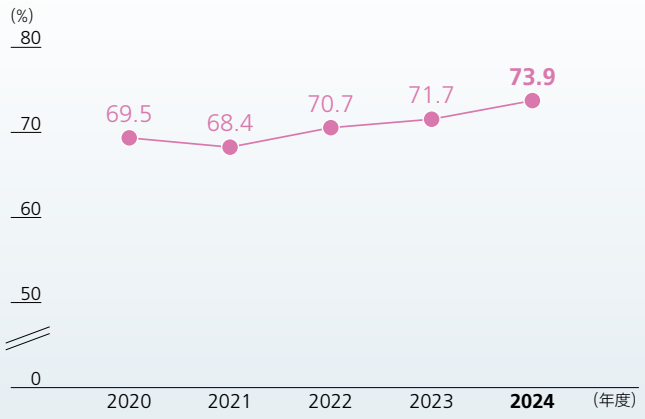
有利子負債／ D/Eレシオ※5



※5 劣後ローンの資本性考慮後

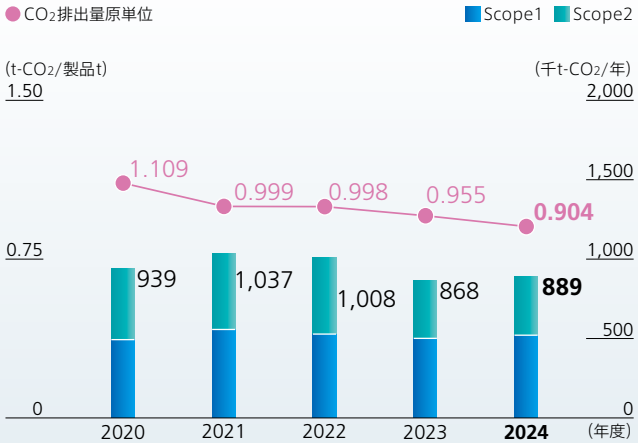
非財務ハイライト

UACJリサイクル率※1



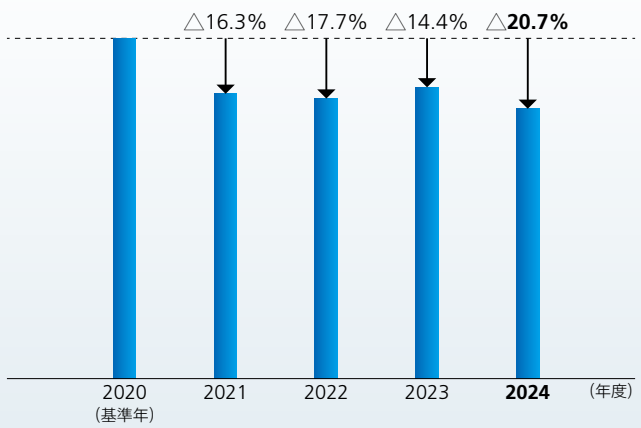
※1 UACJリサイクル率＝循環アルミ量／溶解炉への装入量（純アルミ材を除く）

CO_2排出量※2



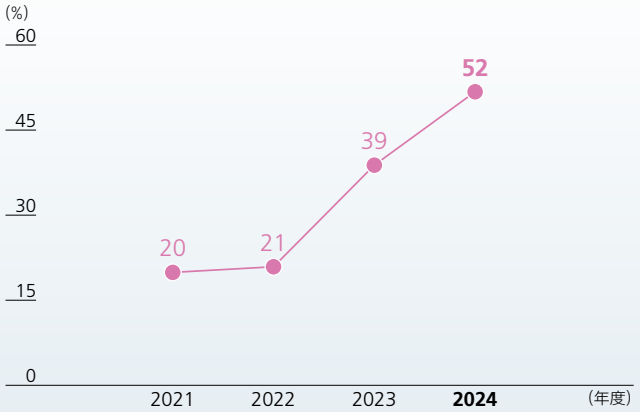
※2 2022年度まではロケーション基準、2023年度以降はマーケット基準で表示

取水量の削減率（2020年度比・原単位）※3



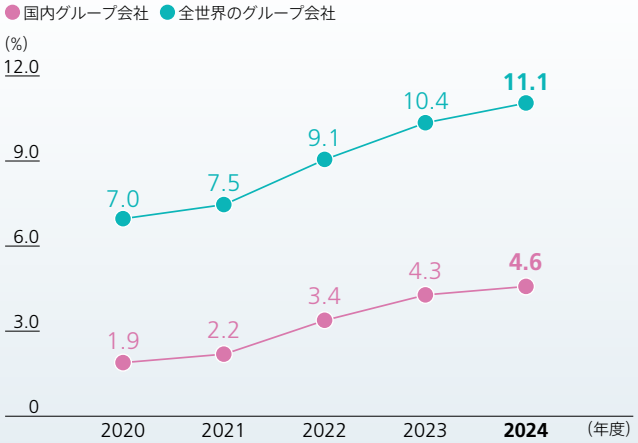
※3 取水は下水再生水含む、工業用水、水道水、井戸水、地表水を対象

人権デュー・ディリジェンス実施率※4



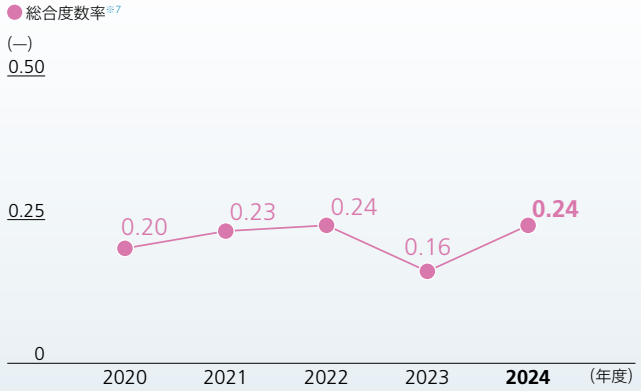
※4 人権デュー・ディリジェンスを実施したグループ会社および拠点等の従業員の総数／当社グループの従業員数

女性管理職比率※5



※5 役員を除く

労働災害の発生状況※6



※6 災害件数：死亡、休業、不休業災害の合計件数
集計範囲：海外事業場を含むUACJグループ事業場（構内協力業者を含む）
※7 総合度数率は、統計期間中ののべ労働時間あたりの労働災害による死傷者数（不休業を含む）を100万時間で換算した労働災害の発生状況（頻度）を評価する指標

10年間の主要財務データ

単位：百万円（四捨五入）

	日本会計基準（JGAAP）								国際会計基準（IFRS）	
業績・収益性の推移	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	**2024年度**
売上高/売上収益	575,735	568,316	624,270	661,330	615,150	569,756	782,911	962,885	892,781	**998,781**
営業利益	15,212	25,869	29,205	14,868	10,126	11,144	59,520	17,207	31,378	**57,361**
親会社株主に帰属する当期純利益（△は損失）/ 親会社の所有者に帰属する当期利益	5,105	8,715	12,253	1,116	2,038	△3,269	32,054	4,703	13,858	**27,979**
棚卸資産影響前経常利益	20,300	24,000	11,300	3,000	9,800	6,200	21,300	16,100	—	**—**
事業利益※1	—	—	—	—	—	—	—	—	43,420	**45,882**
Adjusted EBITDA※2	—	—	—	40,900	48,700	44,600	60,500	56,100	79,826	**84,029**
財務状態の推移										
総資産/資産合計※3	662,543	725,443	774,071	807,224	752,785	732,960	828,729	860,098	914,430	**970,006**
純資産/資本合計	178,582	198,360	208,396	206,204	202,716	196,445	247,589	269,258	302,046	**319,588**
自己資本/親会社の所有者に帰属する持分	165,030	184,090	194,235	190,998	188,363	183,063	227,993	248,037	277,040	**290,622**
有利子負債	289,006	323,825	342,336	375,080	344,011	335,789	339,447	336,700	310,854	**340,700**
キャッシュ・フローの状況										
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,511	28,393	17,381	10,651	58,115	38,623	7,799	52,587	94,918	**9,119**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,759	△55,456	△51,853	△34,947	△30,021	△20,950	△21,035	△26,928	△36,196	**△ 36,873**
フリー・キャッシュ・フロー	△12,248	△27,063	△34,472	△24,296	28,094	17,673	△13,236	25,659	58,722	**△ 27,754**
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,176	49,478	13,543	28,971	△25,852	△17,008	△652	△19,089	△43,994	**12,485**
1株当たり情報										
1株当たり当期純利益（△は損失）/ 基本的1株当たり当期利益（円）※4	11.94	201.63	253.96	23.14	42.26	△67.79	664.69	97.54	287.38	**585.97**
1株当たり配当金※4（円）	6	60	60	60	20	0	85	85	90	**150**
主要指標										
ROE（自己資本当期純利益率/ 親会社所有者帰属持分当期純利益率）（%）	3.0	5.0	6.5	0.6	1.1	△1.8	15.6	2.0	5.3	**9.9**
ROIC※5（%）	—	—	—	2.3	1.9	2.2	11.1	3.0	7.5	**7.6**
D/Eレシオ※6（倍）	1.8	1.5	1.5	1.7	1.6	1.6	1.4	1.3	1.0	**1.0**
自己資本比率/親会社所有者帰属持分比率※3（%）	24.9	25.4	25.1	23.7	25.0	25.0	27.5	28.8	30.3	**30.0**
配当性向（%）	50.3	29.8	23.6	259.3	47.3	—	12.8	87.1	31.3	**25.6**
設備投資・研究開発										
設備投資額	30,489	31,556	51,195	52,544	48,947	18,090	20,728	26,394	33,097	**41,863**
減価償却費	22,893	23,508	25,686	27,215	27,748	30,007	30,585	33,493	36,406	**38,147**
研究開発費	4,630	4,412	4,409	4,529	4,305	4,452	4,259	4,441	4,643	**4,815**

※1 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの　※2 Adjusted EBITDA＝EBITDA－棚卸資産影響等
※3 2017年度より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を遡及して適用し、総資産・流動資産・固定資産・流動負債・固定負債・自己資本比率を算定しています
※4 2017年10月１日付で普通株式10株につき１株の割合で株式併合を実施したため、2016年度の期首に株式併合を行ったと仮定し、2016年度と2017年度の１株当たり当期純利益を算定しています。また、2016年度と2017年度の１株当たり年間配当額は、株式併合後の基準で換算して記載しています
※5 税引前事業利益を基に算出　※6 劣後ローンの資本性を考慮

人的資本データ

人材戦略	実施項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
組織づくり	UKI参加人数※1	360人	511人	888人	1,411人	**1,752人**
	次世代ビジネスリーダー研修参加者数※1	0人	44人	20人	45人	**28人**
	後継者計画策定率※2	100%	100%	100%	100%	**100%**
	エンゲージメント調査回答率※1	81.5%	80.0%	80.0%	90.0%	**92.0%**
	自主改革宣言実施率※1	—	57.0%	63.5%	72.8%	**57.8%**
	女性管理職比率※3	1.9%	2.2%	3.4%	4.3%	**4.6%**
	外国籍人材採用比率※2	5.4%	8.3%	5.6%	2.5%	**11.1%**
	障害者雇用率※1	2.60%	2.55%	2.44%	2.69%	**2.71%**
人づくり	階層別研修参加者数、拠点数（技能系）※1	570人（26拠点）	526人（26拠点）	534人（26拠点）	463人（28拠点）	**799人（27拠点）**
	ものづくり学園参加拠点数※1	16拠点（うち海外0）	17拠点（うち海外0）	21拠点（うち海外1）	21拠点（うち海外1）	**20拠点（うち海外1）**
	技能開発セミナー受講者数、テーマ数※1	168人（10テーマ）	196人（10テーマ）	229人（10テーマ）	256人（10テーマ）	**305名（10テーマ）**
	階層別研修参加者数（スタッフ系）※1	381人	476人	646人	811人	**989人**
	360度評価実施率※4	99.5%	100.0%	99.2%	—	**96.3%**
	グループ公募制度異動数※1	2人	5人	1人	3人	**1人**
	キャリア採用比率※2	53%	68%	66%	58%	**62%**
働く環境づくり	男女間の賃金水準格差※2	—	—	78.4%	78.1%	**76.4%**
	年間総実労働時間※2	2,026時間	2,115時間	2,062時間	2,060時間	**2,075時間**
	時間外労働時間※2	25.1時間	30.2時間	28.1時間	26.8時間	**28.2時間**
	有給休暇取得率※2	53.8%	62.0%	69.0%	67.6%	**67.0%**
	男性育児休業取得率※2	22.0%	42.0%	69.1%	74.0%	**70.5%**
	女性育児休業取得率※2	100%	100%	100%	100%	**100%**
	健康診断受診率※2	100%	100%	100%	100%	**100%**
	ストレスチェック実施率※2	94.3%	90.9%	91.7%	95.4%	**95.2%**

※1 グループ全体が対象　※2 単体が対象　※3 国内グループが対象　※4 単体管理職が対象

会社情報/株式情報

会社概要(2025年10月1日現在)

名称	株式会社UACJ (英文名:UACJ Corporation)
本社	東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
代表取締役 社長執行役員	田中 信二
事業内容	アルミニウム等の非鉄金属およびその合金の圧延製品・鋳物製品・鍛造製品ならびに加工品の製造・販売等
資本金	522億77百万円
従業員数(連結)	10,203名(2025年3月末時点)
決算期	3月31日
URL	https://www.uacj.co.jp/

株式の概況(2025年6月30日現在)

発行可能株式総数	170,000,000株
発行済株式の総数	46,328,193株 (自己株式1,069,835株を含む)
株主数	19,347名

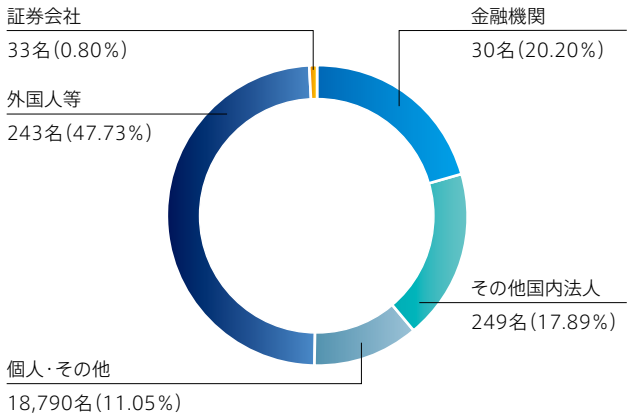
※ 2025年９月30日を基準日、2025年10月１日を効力発生日として、普通株式１株につき４株の割合で株式分割を行うことを予定しています

大株主の状況

株主名	持株数(百株)※2	持株比率(%)※3
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	80,759	17.84
古河電気工業株式会社	64,365	14.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	46,903	10.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	17,294	3.82
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	15,119	3.34
ECM MF	14,500	3.20
株式会社UACJ	10,698	—
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	10,047	2.21
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	9,873	2.18
UACJグループ従業員持株会	7,706	1.70

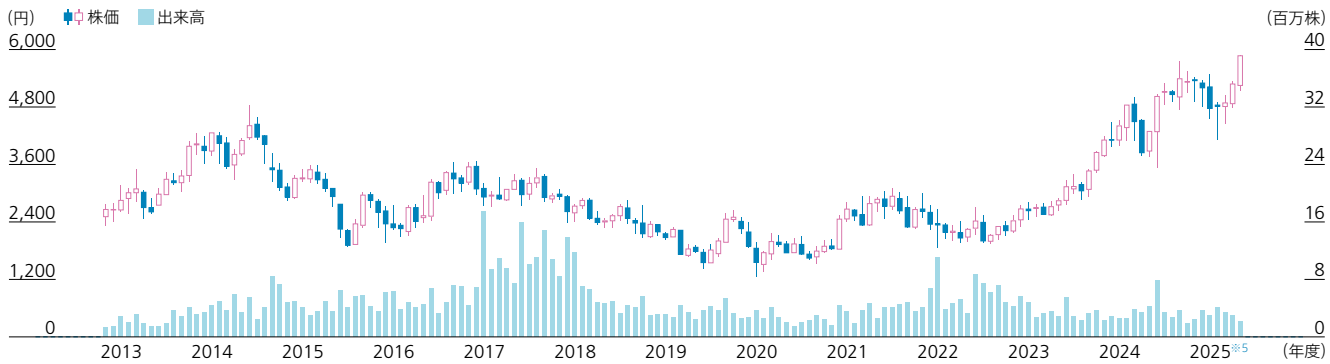
※2 持株数は百株未満を切り捨てて表示しております
※3 持株比率は自己株式(1,069,835株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております

所有者別の構成比率(株式数比率)※4



※4 持株数比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております

株価と出来高(月次)(2013年10月1日～2025年7月31日)



※5 2025年度は、2025年7月末時点を表記

外部イニシアチブへの参加・外部評価

外部イニシアチブへの参加

「Aluminium Stewardship Initiative」加盟

「国連グローバル・コンパクト」へ署名

「気候関連財務情報開示タスクフォース」提言への賛同

「水素バリューチェーン推進協議会」に参画

「水循環ACTIVE企業」に認定

「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加

「パートナーシップ構築宣言」に賛同

外部評価

「ディスクロージャー優良企業（2024年度）」鉄鋼・非鉄金属部門1位

「CDP2024」で「気候変動」「水セキュリティ」の両部門で「A-」を受賞

2025年度「SOMPOサステナビリティ・インデックス」構成銘柄に選定

2024年「えるぼし認定（３つ星）」を取得

2025年「プラチナくるみん認定」を取得

「フェーズフリーアワード2025」origami™ +workが事業部門シルバー賞を受賞

UACJレポート2025の発行にあたって

本レポートは、株主・投資家の皆様に当社グループをより深くご理解いただき、建設的な対話を促進するツールとして制作しています。編集にあたっては、これまでの対話の中でいただいた貴重なご意見を、可能な限り反映しました。

アルミニウムは、軽さやリサイクル性の高さを特徴とし、環境負荷の低い素材として需要が増加しています。UACJグループは、アルミニウムの素材の力を引き出すことで、社会課題解決と企業価値向上の両立を目指しています。本レポートでは、そのようなUACJグループならではの価値創造をお伝えすることを心掛けました。

今後も、持続的な企業価値向上を目指して、情報開示の充実に努め、IR活動に真摯に取り組んでいきます。

財務本部 IR部

編集メンバー　＜編集＞IR部　＜制作協力＞総務・広報部 広報グループ

パラリンアートコンテストを開催しました

当社は、社会におけるDE&I推進の一環として、（一社）障がい者自立推進機構（パラリンアート）と共同で、障がい者アーティストを対象としたデザインコンペを2021年から開催しています。
2024年は「Aluminum lightens the world」をテーマとし、79作品が集まりました。その中から、当社グループ従業員によるWeb投票でグランプリ1作品とUACJ賞2作品を選出しました。

グランプリ
ケンタさん
「アルミの仕事で得たお金で出発する
明るく軽やかな大冒険」

UACJ賞
竹ちょさん
「タブから生まれ変わる未来」

UACJ賞
tontonkikakuさん
「アルミと私たちの近未来」

株式会社UACJ

IR部
〒100-0004
東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル

https://www.uacj.co.jp/
https://www.uacj.co.jp/inquiry/index.htm

このレポートに関するご意見・ご感想は、上記へお寄せください。

"UACJ"、UACJ は、日本、米国、中国および欧州連合商標（EUTM）などにおける株式会社 UACJ の登録商標です。